
LT0テープによるデータ交換 検証結果について(改訂)

2011年09月01日

日本ユニシス株式会社



LTOによるデータ交換

背景

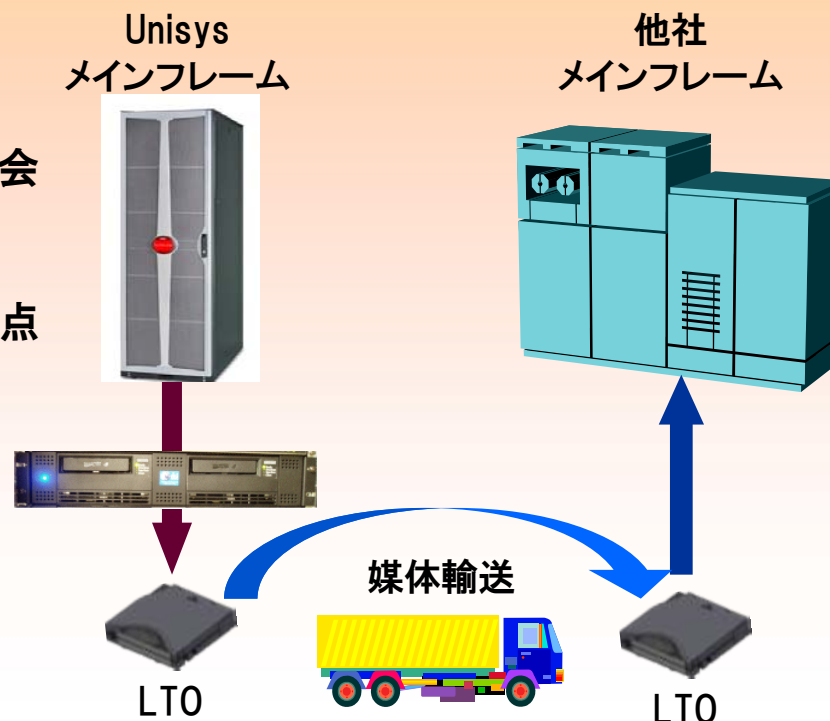
- 従来より、各システムベンダーのメインフレーム装置間で、36トラックCMT媒体によるデータ交換が行われてきました。しかしながら、各社共、既に36トラックCMT機器の販売を中止しており、これに変わる交換媒体が求められていました。

LTOによるデータ交換

- 2007年にJEITAテープストレージ専門委員会において、以下の決定がされている。

「現状及び今後の普及状況や、供給性の観点から議論を重ね、LTO媒体を推奨する。」

- 各社間のLTOによるデータ交換は従来の36トラックCMT媒体と同様な形態となる。(右図参照)



■ 互換確認5社とそれぞれの環境

- メインフレームベンダ間でLTOテープによるデータ交換を検証した。

参加ベンダーのOS環境, LTO装置

参加ベンダー	OS名	システムレベル	対象LTO装置
日本ユニシス	EXEC	46R6-2B以降	ALP64,ULT80
	MCP	MCP10.0 J5以降	ALP64
日本IBM	z/OS	各社情報公開 ホームページを参照ください。 (次ページ参照)	
日立製作所	VOS3		
富士通	MSP		
	XSP		
NEC	ACOS-4		

検証条件

項目	条件
媒体	LTO Ultrium 3 *1
ラベル形式(レコード形式)*2	ANSI標準【固定長】, 標準ラベル(SL) およびラベル無形式(NL)【固定長, 可変長】
ボリューム構成	シングル・ボリューム

*1: 媒体はLTO Ultrium 3にて検証しましたが, ALP64についてはLTO Ultrium 4も使用可能です。

*2: OSによりサポートするラベル形式が異なりますので, 詳細はお問い合わせください。

https://www.unisys.co.jp/inqsys/inquiry_form.html?product_id=325

■ 関連5社の情報公開ページURL

参加ベンダーの情報公開ページURL

参加ベンダー	URL
日本ユニシス	http://www.unisys.co.jp/storage/
日本IBM	http://www-06.ibm.com/systems/jp/storage/products/dataexchange
日立製作所	http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/VOS3/info/concept/edi.html
富士通	http://storage-system.fujitsu.com/jp/news/sp/lto-tape/
NEC	http://www.nec.co.jp/products/acos/acos-4/peri/lto-tape.html